

紙祖神岡太神社・大瀧神社 1300年大祭記念

# 越前装飾料紙

# シンポジウム



千年の時空を越えた装飾料紙、今越前に甦る

(羅紋紙) 高木 厚人作  
「ひらひらと 風にながれて 蝶一つ」(正岡子規)

平成30年

10月28日 [日] 13:30 ~ 17:30

あいぱーく今立 多目的ホール  
【入場料】1,000円(要旨集代含む)

【主催】越前装飾料紙シンポジウム実行委員会 【共催】福井県和紙工業協同組合・和紙文化研究会・越前市  
【後援】福井県教育委員会・越前市教育委員会・全国手すき和紙連合会・公益財団法人全国書美術振興会・福井県表具組合連合会  
福井新聞社・FBC福井放送・福井テレビ・FM福井・月刊URALA・丹南ケーブルテレビ

**お申込み方法**  
シンポジウム・交流会・産地見学会は事前受付制とさせていただきます。参加費の事前払込みが必要ですので、福井県和紙工業協同組合ホームページの「シンポジウム・交流会・産地見学 参加申込書」に必要事項をご記入の上、メール・FAXまたは郵送(現金書留の場合は参加申込書を同封)のいずれかにて、下記までお申し込み下さい。  
FAX:0778-43-1142 E-mail:info@washi.jp 問い合わせ先:福井県和紙工業協同組合 〒915-0232 越前市新在家町8-44パピルス館内 TEL:0778-43-0875

# 現

在、日本各地で漉かれている紙の多くは、近世以降の紙漉き技法であって、古くから伝わる平安時代の王朝美のような装いが備わったものではありません。時代の変化や価値観の相違などから、平安時代の装飾の技法も途絶えてしまい、なかなか再現することが出来ずにいました。越前和紙産地では越前生漉鳥の子紙保存会が設立されたのをきっかけに、装飾料紙復元プロジェクトを立ち上げ、各専門家などの協力の元、再生作業に取り組んで参りました。結果、平安の優美を備えた装飾紙を再現することが可能となりました。

そこで、紙祖神岡太神社・大瀧神社の1300年の大祭が行われたのを機に「越前装飾料紙シンポジウム」を開催し、講演会、特別展示会、和紙工房の見学会を行うことになりました。越前で創造される和紙は時代性及び作り手と使い手の関係性より生み出され、様々な用途で使われ、1500年の伝統となっております。日本の紙漉き技術の奥深さを感じてもらう機会になります。皆様のお越しをお待ちしております。

越前装飾料紙シンポジウム実行委員会

# シンポジウム

平成30年10月28日[日] 13:30~17:30 会場 あいぱーく今立 多目的ホール  
 [入場料] 1,000円(要旨集代含む) 越前市粟田部町9-1-9

## 第1部 基調講演

### かな書道と平安の装飾料紙

名見耶 明氏(五島美術館 副館長)

### 現代に甦る四種の料紙とかな表現

高木 厚人氏(大東文化大学 教授)

### 平安装飾料紙と色の世界

吉岡 幸雄氏(染司よしおか 5代当主)

### 装飾料紙復元の試みについて

五十嵐 康三氏(福井県和紙工業協同組合 副理事長)

## 第2部

### パネルディスカッション

<パネラー> 名見耶 明氏・高木 厚人氏・吉岡 幸雄氏・五十嵐 康三氏

## 第3部

### 越前生漉鳥の子紙保存会活動報告

越前生漉鳥の子紙保存会 会長 柳瀬 晴夫氏

# シンポジウムと同時開催

平成30年10月19日[金]~11月26日[月]

## 特別展覧会

### 「現代かな作家と装飾料紙」越前によみがえる平安の美

会場 紙の文化博物館 越前市新在家町11-12

### 「紙漉き職人達の挑戦」越前によみがえる平安の美

会場 卯立の工芸館 越前市新在家町9-21-2

## 交通のご案内



### お車でお越しの場合

- 米原I.C.より武生I.C.(約1時間)
- 加賀I.C.より武生I.C.(約1時間20分)
- 武生I.C.より(約10分)
- 永平寺より(約50分)
- 東尋坊より(約1時間50分)
- 越前海岸・呼鳥門より(約1時間20分)
- 敦賀I.C.より(約50分)

### JRをご利用の場合

- 大塚~武生(特急2時間)
- 名古屋~武生(特急2時間)
- 金沢~武生(特急1時間)

### バスをご利用の場合

- JR武生駅より、福鉄バス「南越線」乗車 赤坂行き「和紙の里」下車

